

交通安全高齢者宅訪問事業

直轄事業

実施目的

全交通事故死者に占める高齢者の割合が高いことから、高齢者の交通事故多発地点の近隣高齢者宅の個別訪問や高齢者が集まる機会をとらえ、自動車運転中や歩行中の交通安全指導を行うことにより交通安全意識の浸透を図るとともに、交通ルールや自動車等の特性を十分理解してもらうことにより、高齢者の交通事故防止を図る。

実施場所 県内高齢者宅等

対象者 県内在住高齢者（※1）

開始年度 昭和62年

予算 452 千円

実施内容

（内容）

交通事故多発地点周辺等の高齢者に直接安全指導を行い、歩行中の交通事故防止に有効な反射材及び交通安全関係資料を配布し、啓発を行う。

（方法）

市町村が実施主体として、高齢者宅や高齢者の多く集まる機会を捉えて反射材及び交通安全関係資料を配布。

（※1）事故多発地点の近隣に居住する65歳以上の高齢者が対象。

URL

<https://www.pref.yamanashi.jp/shokuhin-st/koureisyahoumon.html>

セーフティドライブ・チャレンジ123作戦

補助事業 山梨県交通対策推進協議会

実施目的

原則5人1組となって、チームの無事故・無違反を目指す参加実践型の交通安全運動で、県民の「交通安全意識の高揚」と「安全運転の習慣化」を図る。

実施場所

対象者

県民（※1）

開始年度

平成5年

予算

940千円

実施内容

（内容）

県内の免許保有者が5人（シルバーの部は1チーム3人から5人）1組でチームを組み、123日間の無事故無違反に挑戦する。無事故・無違反を達成したチームは、各種協賛品の当たる抽選会に参加できるため、楽しみながら交通安全の習慣化を図ることができる。

（方法）

一般の部、高校生の部、シルバーの部、ファミリーの部の4部門でチームを募集。各チームは、123日間の無事故無違反に挑戦した後、県自動車安全運転センターが無事故無違反を確認（運転記録証明書を発行）し、達成・非達成を通知。達成チームを対象とした抽選会（チャレンジ123推進会議構成団体からの協賛品、総額約310万円）を開催する。

（※1）県内居住、在勤の運転免許保有者が対象。

URL

<https://www.pref.yamanashi.jp/shokuhin-st/doraibutyarennji.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒運転根絶

その他

自転車安全適正利用対策事業

直轄事業

実施目的

「山梨県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」等に基づき、自転車の安全で適正な利用の促進及び自転車損害賠償責任保険の加入促進を図るため、各種事業を実施し、誰もが安全に安心して自転車を利用できる地域社会の実現を目指す。

実施場所

県内全域

対象者

県民一般

開始年度

令和2年

予算

0千円

実施内容

(内容)

- (1) 条例の普及啓発及び自転車安全適正利用促進事業
- (2) 自転車損害賠償責任保険加入促進事業
- (3) 自転車ヘルメット着用促進事業

(方法)

チラシ等による啓発、イベントでの啓発を実施

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト啓発
イベント
運動調査
研究市民
参加

自転車等

反
射
材飲酒
運転
根絶その
ほか

URL

<https://www.pref.yamanashi.jp/shokuhin-st/jitennsyagosoku.html>

交通事故多発地点調査

直轄事業

実施目的

交通事故多発地点について、事故誘発の諸原因を調査究明するとともに、総合的かつ効果的な交通安全対策を樹立し、これを促進する。

実施場所 県内（※1）

対象者 県民一般

開始年度 昭和45年

予算 0 千円

実施内容

（内容）

交通事故多発地点を市町村（地元住民を含む）及び警察、道路管理者とともに現地調査し、事故の原因究明と効果的な対策の検討及び促進を図る。

（方法）

該当箇所において現地調査及び検討会を実施し、各関係機関で効果的な対策の実施を検討、検討結果については各関係機関へ通知。

対策の実施状況については、各関係機関へ照会するとともに、県警察本部へ該当箇所における対策の効果測定を依頼し（次年度も繰り返し、照会及び依頼をする）、効果測定の結果を各関係機関へ通知。

（※1）県警察本部から抽出された交通事故多発地点から選定。

URL

<https://www.pref.yamanashi.jp/shokuhin-st/tahatutitenntyousa.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他

オールやまなし飲酒運転根絶事業費

補助事業 山梨県交通対策推進協議会

実施目的

官民一体の組織である山梨県交通対策推進協議会において、広く県民に向けた多角的な働きかけを実施し、飲酒運転による悲惨な交通事故のない「豊かさを実感できるやまなし」の実現を目指す。

実施場所 県内全域

対象者 県民一般

開始年度 令和元年

予算 806 千円

実施内容

(内容)

- (1) 飲酒運転根絶やまなしキャンペーン
- (2) 飲酒運転根絶モデル事業所・飲食店の認定・公表

(方法)

- (1) 広く県民に向けて、市町村や県警等と連携して年間通して行われる交通安全イベントの際に、飲酒運転根絶に関するチラシや啓発品を配布
- (2) 事業者の主体的な取り組みを促進するため、飲酒運転根絶の優良な取り組みを行っている事業所・飲食店を「飲酒運転根絶モデル事業所・飲食店」として認定・公表

URL

<https://www.pref.yamanashi.jp/shokuhin-st/32766607696.html>

高齢者

子ども

中高生

チャイルドシート
シートベルト

啓発運動

調査研究

市民参加

自転車等

反射材

飲酒
運転
根絶

その他